

# あ・うん

金剛禅総本山少林寺広報誌

vol.  
80

2022 睦月・如月

## 謹賀新年

人生で大切なことは人間関係の豊かさ。  
仁義忠孝礼の徳を積み、与える行動で幸せを得る。  
幸多き一年でありますように  
皆様のご活躍を祈念します。

金剛禅総本山少林寺管長 大澤 隆

特集 / 新春座談会 2022

— 金剛禅充実の支柱たる三大方針

## 新春のごあいさつ



宗 昂馬 少林寺拳法第三世師家

皆様、新年明けましておめでとうございます。

コロナ禍で先行きが見え難い日々の中で、道院長の皆様が真摯に布教活動にご尽力されていることに、敬意と感謝を申し上げます。

さて、2022年はどのような一年になるのでしょうか。

去年は、私たちの活動だけではなく、社会全体がコロナ対応に追われました。それぞれが社会の変化に対応しなければ、今まで以上に社会から置いて行かれてしまうのが現代です。少林寺拳法が創始された戦後とは違い、時代も社会も生きている人々の価値観も大きく変化していると感じます。

私たちが変化する勇気を持ち、社会に必要とされることで、私たちの活動の場は確実に増えていきます。変化することを恐れずに、今まで長年培ってきた修行の成果を社会に向けて信念をもって発揮していく時です。

目の前にいる人々に目を向け、人と人が互いに認め合い協力していかなければ、この激動の時代に生き残れる組織にはなりません。

毎年毎年、社会が変化するスピードは加速していきませんが、その反面、人間の心の抛り所となるものが希薄化していついようにも感じ危機感を抱いています。

門信徒全員が人間の可能性を信じ、これを最大限に活かし、育てていく環境が金剛禅の教えの中に秘められています。自信を持ち、私たちの力をそれぞれの地域に発信して、コロナに負けず、本年も一緒に歩いて参りましょう。

今年は、皆様と本山で、あるいは全国各地でお会いできることを楽しみにしております。

皆様の道院活動がますます充実されることを心から祈念しております。

合掌

特集

# 新春座談会

# 2022

## —— 金剛禅充実の支柱たる三大方針

教区の事業方針として、「広報の充実」、「僧階学習の充実」、「若手人材の積極的登用」を掲げている。いずれの教区もこの三大方針のもとに鋭意取り組まれている。そこで、新春座談会では、全国の教区を代表して四名の教区長にご出席いただき、大澤隆管長とのZoomによる座談会という形式で、事業の進捗状況と2022年の抱負を語り合っていた。

2021年12月4日  
担当/飯野貴嗣

## 秋季意見交換会の成果

**大澤** 2018年度より毎年秋のシーズンに本山と都道府県教区との意見交換会を開催しています。十分な時間を確保し、一つ一つの議題に対して丁寧に意見を交わすことができていると感じていますが、皆さんいかがですか。

**齊藤** 従来会議は本山から一方的な伝達事項が主でしたが、教区ごとの意見交換会によって互いに意見を出し合うことができるようになりました。

**渡辺** 近隣教区の状態や抱えている課題を知ることも大変参考になります。

**木村** 連盟では九州連絡協議会によって情報交換ができるのですが、教区ではそのような会はありません



木村俊介 熊本県教区長

でした。教区意見交換会では各県との認識合わせができ、意識を高める機会になっています。

**奥田** 意見交換会は教区の意見を聞いてもらえることと、それに対して本山からの見解も聞くことができま。それによって、私たちの認識を軌道修正することができ、よい機会となっています。

## ウェブサイトと広報ネットワークの構築で 広報の足場を固める

**大澤** 2021年度事業方針の一つ目は「広報の充実」です。教区でウェブサイトを作り、その中で道院の紹介をする。今の時代、ウェブサイトがあることは広報の基礎の基礎であるとして、すべての教区でウェブサイトを構築することに決めました。おかげさまですべての教区で取り組んでいただいております。

**奥田** ウェブサイトの立ち上げは、本山主導の全国規模の事業と捉えて鋭意取り組んできました。現在33道院中26道院の立ち上げが完了しています。まだ完了していない道院には、教区も手伝って今年度中の100%達成を目指します。

**木村** 熊本県教区では県連と一緒に立ち上げる方針で取り組んできました。ただ、道院サイトの立ち上げはまだ十分とは言えません。しかし、道院サイトを見て見学に来た人や入門した人も出てきていますので、その効果を県内で共有していきたいと思っています。

**渡辺** 広報の大切さはかねてより感じておりました。福井県教区では結果的に「大阪モデル」は選択せず、独自サイトを構築することにしました。2022年2月までの完成を目指して取り組んでいます。

**齊藤** 静岡県教区では45道院中15道院の参加でして、参加数の向上が課題です。参加の意思はあっても、技術面で壁を感じておられる道院長がいます。そのような道院長には在籍拳士に協力してもらおうよう声掛けをしています。また、道院サイトを作っている限りではなく、ブログを更新していけるよう働きかけていきます。

**大澤** せっかく作ったウェブサイトを更新していかないと効果が半減しますから、日頃の活動をブログで更新していくことですね。そのために広報委員会を教区に設置していただきました。そして、全国の広報担当者がつながる「金剛禅広報ネットワーク」を構築し、横の連携を取っ



渡辺竜彦 福井県教区長

ていく。これは広報の充実のための足場固めです。広報の仕方についている教区に対しては、他の教区の広報委員が助言するなど、教区を越えて援け合える自他共楽の関係を醸成していきたいと考えています。

**渡辺** 福井県では二名の広報委員を作りました。県内だけの情報では井の中の蛙になってしまいます。横のネットワークづくりには大いに期待しています。

## 僧階学習の目指す姿

**大澤** 続いては、二つ目の事業方針「僧階学習の充実」についてです。この10月に緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が解除されたこともあり、教区・小教区での研修会・講習会の開催申請が徐々に本山にも挙がってくるようになりました。

**齊藤** 静岡県教区では昨年度も今年度も、国や県の宣言が解除されてい

る時期を見計らい、慎重を期して公認講習会と金剛禅易筋行大会を開催し、活気づくよう取り組んでいきます。

**奥田** 奈良県教区では小教区研修会を年1回は開催する方針を立てていますが、7小教区中3小教区が実施済みです。残り4小教区についても今後実施の予定です。10月17日に本山公認講習会を実施し、また、12月19日には、奈良県教区研修会も実施予定です。目標はすべて達成できると思います。

**渡辺** 福井県教区は今年度は十分できておりませんが、2022年には実施していきます。

**木村** 現在のところ熊本県教区でも小教区研修会が実施できておりません。まだ実施経験の無い小教区がありますので、実施の方法や申請の仕方もサポートしていきたいと思っています。



大澤 隆 金剛禅総本山少林寺管長



奥田眞弓 奈良県教区長

**大澤** 奈良県教区は僧階の研修会は門信徒に限らずもっと開かれた場にしたかった。という旨の意見をお持ちでした。具体的なイメージはありますか。

**奥田** 僧階学習は、金剛禅の教えを学ぶことで自身の教養を深め、自己の可能性を信じる生き方を学ぶ場だと思っています。ですから、高校や大学の少林寺拳法部の会員にも、学校では学べない人生に通じる教えを学んでほしい。そして、技術と教えの両方を学び、仲間と修練する楽しさを味わうとともに、相手を敬うことのできる人間に成長してほしいと思います。また、彼らが卒業した後も、道院で修行を継続することが期待できます。奈良県では教区と連盟の連携が強いので、このような取り組みが可能です。

**齊藤** 5年前から当県で実施している金剛禅易筋行大会は、易筋行を通

じて横のつながりを作っていくとともに、金剛禅への理解を深めることを目的としています。門信徒だけでなく、大学生や高校生も参加対象としています。競技大会とは異なり、技の発表、道院の活動紹介、開祖や釈尊にまつわる寸劇もあります。そして、必ず行うのが金剛禅の教えに関する講義です。大会には保護者の方々が観覧席で見られます。普段の僧階研修には保護者の参加はありませんが、易筋行大会には参観者として会場に来られますので、そこで金剛禅の教えを説いています。

**木村** 去る11月21日に熊本南小教区と南ブロックの合同行事、「南まつり」今日、HEROになろう!!」を実施しました。私はその行事の最後に挨拶をする運びとなり、事前に原稿を作成し家族に見てもらったのですが、「難しくわからない」と言われてしまいました。小難しい言葉



齊藤政実 静岡県教区長

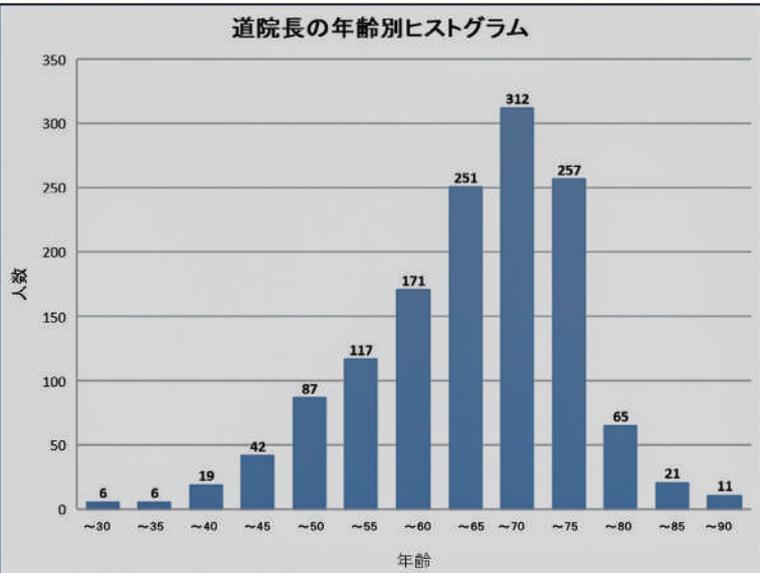
を使っても伝わらないんだなと改めて思いました。一方、この行事には保護者の方々に運営スタッフとして協力していただきましたが、作業を共にしながら少林寺拳法の教えを話したらよく理解していただきました。

**大澤** そのような行事の取り組みはいいですね。私たちが目指しているのは、物心両面における調和のとれた社会の実現です。僧階学習の充実とは、金剛禅を学ぶ過程で得た教えや布教法を上手に活用して、周りの人をよりよい生き方へと導いていくことだと考えています。

**齊藤** 僧階学習として研修を実施したり参加したりすることはよいと思います。ただし、自身の資格を上げることが目的なのではありませんね。あくまでも金剛禅の理解を深めることだと思っています。

**渡辺** 金剛禅の専門用語の深さを知ることが大切なことですが、一般人に専門用語で説明したのでは理解しただけかもしれません。一般人にもわかりやすく伝えられるよう、頭の中を整理しておく必要がありますね。

**大澤** 一足飛びに理想の姿を持っていくことは無理ですが、将来をイメージして継続的に僧階学習を続けていくようにしていきたいですね。



【参考データ】参与道院長制度の状況（2021年11月1日現在）

設立／交代 ／参与	5月度研修会		8月度研修会		2022年2月度研修会（予定）	
	受講人数	平均年齢	受講人数	平均年齢	受講人数	平均年齢
道院設立	2名		2名		0名	
道院長交代	3名	50.5歳	9名	50.4歳	7名	57.1歳
参与道院長	8名		22名		4名	

【参考データ】教団全体の参与道院長数（2021年11月1日現在）

道院数／参与道院長数	34道院／40名
平均年齢	50.6歳

## 参与道院長制度の積極的活用を

大澤 では三番目の方針「若手人材の積極的登用」についてです。11月1日現在の道院長の年齢別ヒストグラムは右図のようになっています。50代や40代の道院長をどう作っていくか。そして、彼らが積極的に活躍

できる機会をどう作ってあげられるかが課題となっています。

奥田 奈良県教区では最近30代で1名、40代で1名の道院長が誕生しました。ふたりとも行事にも積極的に協力されますし、会議でもしっかりとした発言をされます。このような方々は後輩たちの目標になりますし、私たちの希望にもなります。

渡辺 福井県教区では次世代委員会

を設置しました。その委員長には最も若い30代道院長に就任してもらいました。失敗を恐れず、若い感性を生かして行事を企画するよう激励しています。

齊藤 参与道院長制度の活用が有効だと思えます。この制度は道院長の引継ぎ期間としてのバトンゾーンが設けられた制度です。現在道院長であってもいつかは後進の者に引き継がなければなりません。道院長としての職を退いた後は、顧問や相談役という立場で後継道院長の成長を支援することができそうです。また、本山が用意した「さくら色」の袖章も、先代道院長への敬意と配慮だと思えます。

## 2022年の抱負

大澤 最後に2022年の抱負をおひとりずつお願いします。

齊藤 コロナ禍での停滞ムードを払拭させる行事の企画ですね。去る11月28日、県連主催で介護技術講習会を開催しています。県内を活気づけ、その取り組みを門信徒増加につなげたいと思っています。

奥田 本山公認講習会、教区・小教区研修会を来年も1回は実施します。加えて、金剛禅大会の実施に向

けて前向きに検討したいと思えます。

渡辺 福井県教区でも金剛禅大会の実施に向けた可能性を探っていきたいと思えます。

木村 小教区研修会の年2回実施を目標に掲げます。アフターコロナに備えて、「やらない」ではなく「何ができるか」という思考で取り組みます。

大澤 私たちの組織は本山も教区も道院もみな一つです。どこが欠けてもいけません。2022年もともに金剛丸を進めて参りましょう。本日はありがとうございました。





## 開祖語録 ダイジェスト

1974年8月  
大学幹部合宿



自分だけの存在とか、自力だけで何でもできるといった都合のいいことこの世にはないんだよな。「天馬空を行く」の気概をもつのは非常に結構。あるいは「天上天下唯我独尊」と己を信じるのも勝手。でも、己とは、己以外のはるかに膨大な諸々の他の中的一点に過ぎず、そして、その、自分もいて多くの他もいるという中で、何がいちばん大切かをせんじつめて言うなら、いたわりの感情、行動・行為だと私は思いますが。また「してあげる」「してもらう」、この両方が成り立ったときに「幸せ」という言葉も生きてくると。

例えば、身内とか恋人、親しい友人の誰かが病氣し、ひどく吐いたり苦しんだりしていると。普通の人なら「代われるものなら代わってあげたい」と、まず思うよな。でも、病氣や食事、トイレに行くといったことから始まり、死に至るまで、いかに愛し、尊く思っていようと、ある人が他の人間に代わりようのないことは、限りなくある。でもそれでも、何もかもが無じゃな

# 半分は相手のことを考える生き方、 行動で貫いてみる

い。「いたわり」という思いを、何らかの行為にしていって、それは可能だろうか？ つまり、何を君らに伝えたいかというたら、繰り返しになるけど、してあげる、与えてあげることで喜びを感じる感情。あるいは、反対に自分が苦しんだり困っているときに、素直に他人の好意を受け入れられる、そういう意味で豊かな心を持った人を、私は少林寺拳法で育てたいという事です。

「いえ、他人の事情まで おもんばか 慮 っていたら、自分が落伍者になりますから」なんて発言が聞こえてくるようだが、そんなことないぞ。将来君らが会社に入ろうと家の商売継ごうと、どんな職業を選択しようが、半分は相手のことを考える生き方、行動で貫いてみる。一見、遠回りで損するように見えるけど、人間としては必ず豊かな人生が送れる。私が太鼓判押してるんだから信じていい。



三重県・四日市富田道院の紹介

る」という思いがあります。では、道院運営から見てきたものとは……。指導における具体的なポイントとは……。きっと皆さんの道院運営にも参考にしていただけることと思います。

この取り組みの詳細については、2月中旬頃に基幹事務システム「お知らせ」に掲載いたしますので、是非ご参加いただくか、動画にてご視聴ください。

(本山布教課)

## 今後の取り組み

絵本プロジェクトの今後の取り組みとして、読み聞かせを積極的に取り入れている道院への訪問、またその内容を動画にて紹介することを計画しています。

この取り組みの事前取材として、10月に四日市富田道院を訪問してきました。この道院はとてもアットホームな雰囲気でありながら、節度のある運営がなされていました。

その根底には、西村忠則道院長の「金剛禅の教えを通して誰もが幸せな人生をすごして欲しい。そのためにも、誰でも道院に来たくなくなるような雰囲気づくりをす



# 行の門宗



このコーナーでは易筋行が人づくりの手段たりうるために、調和の思想やダーマ信仰、三徳(護身練胆、精神修養、健康増進)、修練方法、身心の用い方等を切り口として、日々の修練と日常生活がリンクするように、易筋行とは何かを考察していきます。今回は修練における指導者の心の用い方について考えていきます。

## 人前に立つときの心境

指導者は人前に立って指導する以上、正しく技法を理解し、人一倍研鑽を積んでおくことが求められます。それ故、いざ自分が指導者となって人前に立つとき、技がうまくできるところを見せよう、格好良いところを見せようと、素の自分以上に良く見せようとするのではないのでしょうか。

あるいは、うまく技がかからなかったらどうしようという不安から、示範する時には、自分にとってやりやすい相手を指名する、苦手な技法は示範をせずに説明のみでばかしたり、ゆっくり動いて見せることで、うまくできない自分を隠したりすることはないでしょうか。



## 自己一致

一方的に教えるという場面であれば、教える人と教えられる人という上下関係があった方が効果的な場合もあります。しかし、私たち金剛禅が行う人づくりは、指導者自身も「修行者」という一面を持ち合わせています。人には本来の自分の姿とは別に、自分の外に見せている姿があります。それらが完全に一致することはありませんが、できる限り近づけるように努力していくことが必要であり、それは指導の場面だけでなく、社会生活や家庭など日常の場面にもあてはまるのではないのでしょうか。

相手に良く見られようと努力することは、決して悪いことではありません。しかし、良く見せるために本来の自分と向き合うことなく自分を飾ることは、努力をせずに外見のみにこだわっていることになります。また自分がうまくできない技があったときにそれを隠そうとすれば、その技を人前で行わなくなり、ますます苦手なものとなっていくでしょう。

どれだけ着飾り、頑丈な鎧や強力な武器を身にまとおうとも、中身が変わらなければ、本当の意味で強くなったとは言えません。

## ありのままを見せる

前述のように、時には自分を良く見せることが必要な場合もあります。しかし、その時に大事なはそのことを意図的にやっているか、と自覚して自分を高める努力をするかどうかです。

物事に完璧というのはありません。自身が学んだ技をどのような状況であっても使いこなせる人も、一言一句、一挙手一投足、間違わずに相手に伝えられる人も存在しません。あるがままの姿を見せられることは強さでもありません。できないことはできないと素直に認め、できるように努力していくことこそが修行であり、尊ぶべきことではないでしょうか。

(富田雅志)

## DISCUSSION

### さらに考察を深めるため

- 指導において人前に立つとき、自分本来の姿と自分の外に見せている姿に差はありますか。差があるとしたら、それはどんなところにありますか。一致している場合は、なぜ一致させることができているかを振り返ってみましょう。
- 指導相手の中に、自分よりも段位や立場が上の人がいる場合、また否定的な立場をとる人がある場合に、どのような心持ちで指導を行っていますか。また、どのような心持ちで行うと良いと思いますか。

## 道院長

## 元気の素



あなん  
徳島県・阿南道院  
かたやまみつひろ  
道院長 片山光弘(54歳)

## 道院長になったきっかけ

私は、子どもの頃から抱いていた強さへの憧れと、武道がしたいとの思いから、社会人になって阿南道院に入門しました。また、偶然にも妻の父が先代道院長でしたが、初めから道院長になることを考えていたわけではありません。しかし、修行を続けるうちに、道院長になつかなければと考えるようになりました。私が五段を取得した数ヶ月後、先代が76歳で急逝しました。当時私は36歳、仕事との両立が難しく、道院の廃止も考えました。しかし、「辞めてしまうことは簡単だが、道院を続けることで青少年の健全育成に少しでも貢献できるのではないか」と思い、道院の先輩や門下生に背中を押してもらい、続けることを決意しました。交代当時は、設立45年の歴史は大変な重荷でしたが、周りの道院長の先生や先輩方のご指導とご協力のおかげで、何とか活動を続けられています。周りの先生方に感謝しつつ、これから自分の色を出していきたいと考えています。

## 指導で大切にしていること

「挨拶」を大切にしています。「挨拶」の語源は、禅宗で問答を交わして相手の悟りの深淺を試すことを「一挨拶」といい、その言葉に由来します。「挨拶」は「押し開く」「互いに心を開いて近づく」、「拶」は「迫る」「擦り寄る」ということであり、お互いの心を開いて、相手の心に近づいていくという意味になります。道場の中でも学校や社会でも「挨拶」は大事であり、仲間を大切にし、お互いが尊重し合い助け合い、共に少しずつでも進歩していけるようにと指導しています。大事なものは、挨拶プラスねぎらいの言葉、感謝の言葉、承認、ほめ言葉です。そして、相手の名前を呼んであげる。道場では、親しみを込めて名前で呼ぶように心がけています。特に少年拳士は自分の名前を呼ばれるとやる気が増すように感じます。

## 拳士のふるさとであり、地域のコミュニティとして

道院長になった頃、徐々に拳士の数が減り、数名になったことがありました。当時、三兄弟が入門しており、その一人が、「僕らが卒業したら、阿南道院無くなるのかな……」とつぶやいたことがありました。その時に、彼らが社会人になり県外に行っても、阿南に帰ってきたら行く場所がある。阿南道院が彼らにとってのふるさとのような場所になればと考え、たとえ拳士が一人になっても続けていこうと思えました。継続していると、小学生だった拳士たちが大人

になり、結婚などの報告にやってくるようになります。このような時は、本当に嬉しく、続けていてよかったです。

また、他の地方都市と同様、阿南市も高齢化が進んできているため、今後は、金剛禅運動を通じて地域の活性化や健康増進のお手伝いができればと考えています。地域のコミュニティの場として阿南道院が地域の中心となり、そこから、青少年の健全育成、高齢者の見守り、支え合いなどをしていけたら……との夢を描いています。

## 道院長を目指す全国の拳士へ

私は、つねづね「縁」を大事にしたいと考えています。願い行動し、なりたいたいという思いがあれば、そこに導かれ、必ず「縁」が繋がります。目指すものがあれば、漠然とでも、思い描くことだと思えます。道院長になりたいと思わなければ、実現はしません。私が道院長になったのは、前にも触れた通り、先代の急逝によるものですが、いつかは道院長になりたいとも考えていました。道院長はいろいろ大変な部分もありますが、道院長になった「縁」で知り合った方や同じ志の仲間も増え、また拳士の成長を見ることができるといえる、という楽しみもたくさんあります。いつかは指導者、道院長となつて金剛禅を、少林寺拳法を共に盛り上げていきたいと思います。



※プロフィールなど、金剛禅オフィシャルサイトの全文もぜひご覧ください。

研修会・講習会(地方) |  
**開催報告**

● 本山公認教区講習会  
 開催報告(派遣講師)

- 「10月17日」奈良県教区(迎田展孝)
- 「10月24日」静岡県教区(湯浅裕)
- 「10月31日」富山県教区(東山忠裕)
- 「11月14日」東京都教区(前田保男、永井比佐志)

● 教区研修会

- 「9月19日」静岡県教区
- 「10月3日」和歌山県教区
- 「10月17日」福島県教区
- 「10月24日」神奈川県教区
- 「10月30日」東京都教区
- 「11月14日」大阪府教区

● 小教区研修会

- 「8月27日」宮城塩竈小教区・宮城仙台小教区・宮城県北小教区合同
- 「9月12日」奈良桜井小教区
- 「9月15日」静岡西部第一小教区
- 「9月20日」静岡中部小教区
- 「9月24日」宮城塩竈小教区・宮城仙台小教区・宮城県北小教区合同
- 「9月26日」香川中讃第一・第二小教区合同
- 「10月3日」青森南部小教区
- 「10月17日」神奈川西湘小教区

- 「10月22日」宮城塩竈小教区・宮城仙台小教区・宮城三陸小教区合同
- 「10月23日」愛知西三河第一小教区
- 「10月24日」横浜第四小教区、香川中讃第一・第二小教区合同
- 「10月27日」東京第五小教区
- 「11月13日」静岡西部第一小教区
- 「11月21日」岩手県南小教区・岩手盛岡小教区合同
- 「11月23日」千葉北部小教区

山口西小教区

金剛禅大会

令和3年10月24日(日)宇部市武道館において「令和3年度山口西小教区金剛禅大会」を開催しました。コロナ禍の影響で2年ぶり2回目の開催でした。

大会の内容は「教典唱和」に始まり、募集した拳士より「拳士スピーチ」を行い、自分の夢や目指す人間像について話してくれました。続いて古屋讓山口西小教区長による「法話」、そして「演武披露」「全体演武」を行いました。

「演武披露」では親子や師弟の組み合わせがあり、今回が人前で初めて演武する拳士もいて、

競技の大会とは違った和やかでアットホームな雰囲気でした。

「全体演武」では少林寺拳法健康プログラムを行い、軽快な音楽に合わせて、参加者全員で楽しく体を動かすことができました。まだまだ油断できない状況ですが、私たちにできることを一つずつ、皆で力を合わせて前に進み続けます。

(山口西小教区 事務局長 鈴木道臣)



静岡県教区

第5回金剛禅易筋行大会

肌寒さを覚える11月7日(日)静岡県武道館にて静岡県教区第5回金剛禅易筋行大会を開催しました。親睦と研鑽、横のつな

がりを築くことを目的に始まった本大会も「第5回」目を迎えることができました。

「易筋行1」では各道院紹介と演武等の発表、「易筋行2」では有段者クラス、見習・級拳士クラス、2部門に分かれ、各種法形相対から連続複数法形修練を中心に行い、小学生クラスは「遊びながらカラダを鍛える」ゲーム形式で他道院との親睦を深めました。

後半になってくると、笑顔や会話が増えていることがとても印象的でした。

回を重ねる毎に「笑顔」が増え、また来年その楽しさを人に伝えて「学びの輪」や「仲間の輪」を広げていける。そんな易筋行大会が静岡県教区の布教に対する原動力につながっています。

(静岡県教区 事務局 藤森正和)



緑の輪袈裟

酒田中部道院  
 入門式・達磨祭  
 (道院長 鈴木信一)



秦野道院  
 修練時に着用  
 (道院長 飯田昌一)



## 道院認証

認証おめでとうございます。

### ●交代

■2021年10月1日付

所沢竜王道院 内田 真悟

博多玄洋道院 益永 亮

## 法階昇格者

昇格おめでとうございます。

### 准範士

■2021年6月20日付

大森 一浩 (大阪八尾南道院)

■2021年9月26日付

遠藤 康二 (宮城大河原道院)

桶土井 一博 (岸和田道院)

坂本 健 (南部道院)

穴井 俊一 (玖珠道院)

小西 幸一 (JFE倉敷)

■2021年10月31日付

佐々木 正範 (北広島道院)

和仁 泰造 (札幌すみかわ道院)

## 僧階昇任者

昇任おめでとうございます。

### 少法師

■2021年11月28日付

佐藤 典之 (秋田仁賀保道院)

近藤 英樹 (取手南道院)

岡田 雅男 (宇都宮北部道院)

植木 勝 (真岡中部道院)

村中 洋介 (那須大田原道院)

永島 良一 (埼玉下戸田道院)

中島 正樹 (八王子富士森道院)

立花 圭 (岐阜住吉道院)

藤森 正和 (浜名湖西道院)

丸野 俊一 (川西中部道院)

久保 義則 (高松東道院)

飯野 貴嗣 (本部道院)

### 大導師

■2021年11月14日付

丸山 貴行 (小千谷中部道院)

鎌田 陵人 (新潟共和道院)

荒井 恵一 (新潟共和道院)

丸山 英人 (新潟曾野木道院)

名取 俊人 (山梨峡南道院)

美田 暢紀 (大阪阿倍野道院)

吉野 有紀 (大阪福島道院)

古谷 康雄 (大阪金岡道院)

川脇 芳久 (大阪鶴浜道院)

中井 強 (大阪中津道院)

谷本 義文 (白浜道院)

嶋田 弘人 (箕島道院)

原 和久 (佐世保天神道院)

黒木 啓一 (日向南道院)

### 中導師

■2021年11月1日付

佐々木 恵一 (函館美原道院)

塚原 弘義 (尾張旭道院)

小林 克至 (加古川氷丘道院)

多田 敏郎 (加古川米田道院)

吉谷 克弘 (人吉道院)

■2021年11月13日付

富山 典昭 (栃木城南道院)

松田 武 (埼玉中部道院)

平林 実 (亀有道院)

## お布施

心より感謝申し上げます。

### 達磨祭

▷西陣道院	牧野 清	50,000円
▷山崎 高雄		50,000円
▷株式会社 前川商店		30,000円
▷香川県少林寺拳法連盟		30,000円
▷香川県教区		20,000円
▷光峨嶺山道院	榎野 象堂	20,000円
▷岡山県教区		10,000円
▷東京大塚道院	仲井 由夫	10,000円
▷徳山道院	榎野 象堂	10,000円

### 布施

▷名古屋伏屋道院	齋藤 宏道院長他有志一同	70,000円
▷細川 誠 (故細川正義紀州白蓮道院元道院長一周忌)		50,000円
▷川崎稲田道院	篠原 瑠璃音	10,000円
▷神戸六甲道院	宮原 照雄	10,000円
▷豊田末野原道院	服部 俊美	10,000円
▷東京大塚道院	仲井 由夫 (開祖生誕110年)	10,000円
▷愛知田原道院	蟹江 満弘	1,000円

### 公認講習会

▷群馬県教区		30,000円
▷奈良県教区		30,000円

## ◎◎◎ 本山からのお知らせ ◎◎◎

- 2022年師家年頭挨拶・新春法会の模様をライブ配信いたします。

師家年頭挨拶 1月9日(日) 10:30-10:45 (<https://www.shorinjikempo.or.jp/2022shikentoaisatsu/>)

新春法会 1月9日(日) 11:00-11:50 (<https://www.shorinjikempo.or.jp/religious/2022shinshunhoe/>)



師家年頭挨拶

- 2022年度個人更新(信徒会費/年度会費)の手続きが始まりました。

<https://www.shorinjikempo.jp/portal/shorinji/>

金剛禪本山少林寺の手続き→拳士/活動中の方→4.個人更新手続き 締切:3月22日(火)



新春法会

- 4月補任の僧階編入を希望する方は、2月1日~2月28日までが請願期間です。

准拳士以上かつ、16歳以上の門信徒でしたら、編入可能です。

僧籍への編入を希望する場合は、道院長にその意思を伝え、道院長から本山に手続きを行っていただきます。



個人更新

編集後記▶新しい年をどのような心境でお迎えでしょうか。皆さまのご健康とご多幸を心より祈念申し上げます。▶2022年の干支は「壬寅(みずのえ・とら)」です。壬は任で、責任を荷う意があります。一方で、上に諂(へつこ)う柔弱な態度を指す意もあります。また、寅は、人が向き合う象形文字から「つつしむ、たすける」の意があります。この二字を合わせると、一人ひとりが社会の一員、人類の一員として、仲間とともに協力して責務を全うすることと解釈することができます。あるいは、協力できなければその務めを果たすことが叶わなくなるわけですから、よく考えて行動していかなければなりません。▶今年は時代の変り目の年になりそうです。意義ある一年にいたしましょう。合掌(い)

表紙▶テーマ「ダーマ」

金剛禅総本山少林寺オフィシャルサイト▶

<https://www.shorinjikempo.or.jp/religious/>  
管長法話をはじめ、「宗門の行としての少林寺拳法」を動画でご覧いただけるほか、誌面に掲載しきれなかった記事・写真も掲載されています。

金剛禅

検索

●お詫びと訂正

79号(前号)3ページに「京都別院の祭壇にあった達磨大師と仁王像は現在、本山鎌成道場の祭壇に安置されています。制作したのは大阪四天王寺の仏師である松久琳琳氏です。…(後略)」と掲載いたしました。正しくは、「(前略)…制作したのは大阪四天王寺等、多くの仁王像の制作に携われた仏師、松久琳琳氏です。…(後略)」です。また、「インフォメーション/お布施」で岡崎中部道院の加藤利彦様の漢字表記が間違えておりました。お詫びして訂正いたします。

あ・うん | vol. 80  
金剛禅総本山少林寺広報誌 2022 睦月・如月

2022年1月1日発行

発行人：大澤 隆

発行所：金剛禅総本山少林寺

〒764-8511

香川県仲多度郡多度津町本通3-1-48

TEL: 0877-33-1010

<https://www.shorinjikempo.or.jp>

編集人：飯野貴嗣

印刷・製本：株式会社ムレコミュニケーションズ

広報誌「あ・うん」追加発送について ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

現在、広報誌「あ・うん」は、道院の在籍門信徒数に応じて10~20部ずつ、一般財団支部は1部ずつ、毎月ご提供しております。さらに追加をご希望の方は、本山布教課にお申し出ください。

TEL: 0877-33-1010

e-mail: aun@shorinjikempo.or.jp

いち ご いち え  
一期一笑



イラスト/大原由軌子

川崎西道院 道院長 中川貴司

仲間と共に幸せになる

10月2日(土)、川崎西道院に在籍する拳士同士の結婚式が挙行されました。コロナ禍で延期せざるを得ない状態が続いておりましたが、緊急事態宣言が解除され、ようやく挙式を執り行うことができました。当日は真つ青な空が広がり、前日までの猛烈な台風がコロナやそれまでの鬱蒼とした雰囲気をも吹き飛ばしてくれたかのようにでした。

式に先立ち、宗昂馬第三世師家から頂戴していたお祝いの色紙をお渡ししたところ、大変喜ばれていました。(師家ありがとうございます。)

結婚式には道院からも、学生時代の少林寺拳法部からも大勢の仲間が駆けつけ、二人を祝福し、笑顔に包まれた素敵なお祝いの場となりました。

また川崎西道院の拳士で何かお祝いできないかと考え、拳士全員でスケッチブックリレームービーを作成し、サプライズで流させていただきますました。周囲の仲間の気持ちや新郎新婦にしっかりと届いたと思います。

道院長としては、このような光景に立ち会わせていただき、本当に幸せな気持ちにさせてくれました。また、リレームービー作成では、道院の皆で協力してやり遂げることができたことも嬉しかったです。

おかげさまで、川崎西ファミリィは大家族となってきましたが、これからもみんなで力を合わせ、精進して、そして幸せになつていきたいと思っております。

投稿大募集 道場や拳士のちょっとした話を募集しています。※ペンネーム可ですが、必ず、名前、所属、連絡先もご記入ください。なお、原稿内容の整理・編集をさせていただく場合があります。原稿の選択はご一任ください。〒764-8511 香川県仲多度郡多度津町本通3-1-48 金剛禅総本山少林寺 広報誌担当宛 TEL.0877-33-1010 FAX.0877-56-6022 e-mail: aun@shorinjikempo.or.jp



## 宗門の行としての少林寺拳法

## 生身の自分を高める

どれだけ頑丈な鎧や強力な武器を身にまとうとも、生身の自分が変わらなければ、本当の意味で強くなったとは言えない。外見のみにこだわることなく、本来の自分と向き合い、自分を高めていく努力をすることが必要である。

→詳細は7ページ「宗門の行」へ



### 仁王拳 下受段突

金剛禅総本山少林寺公式サイトで動画をご覧いただけます。

文/富田雅志 演武者/富田雅志 大拳士六段、中川 純 正範士七段



金剛禅総本山少林寺のSNSも、ぜひご覧ください。

